

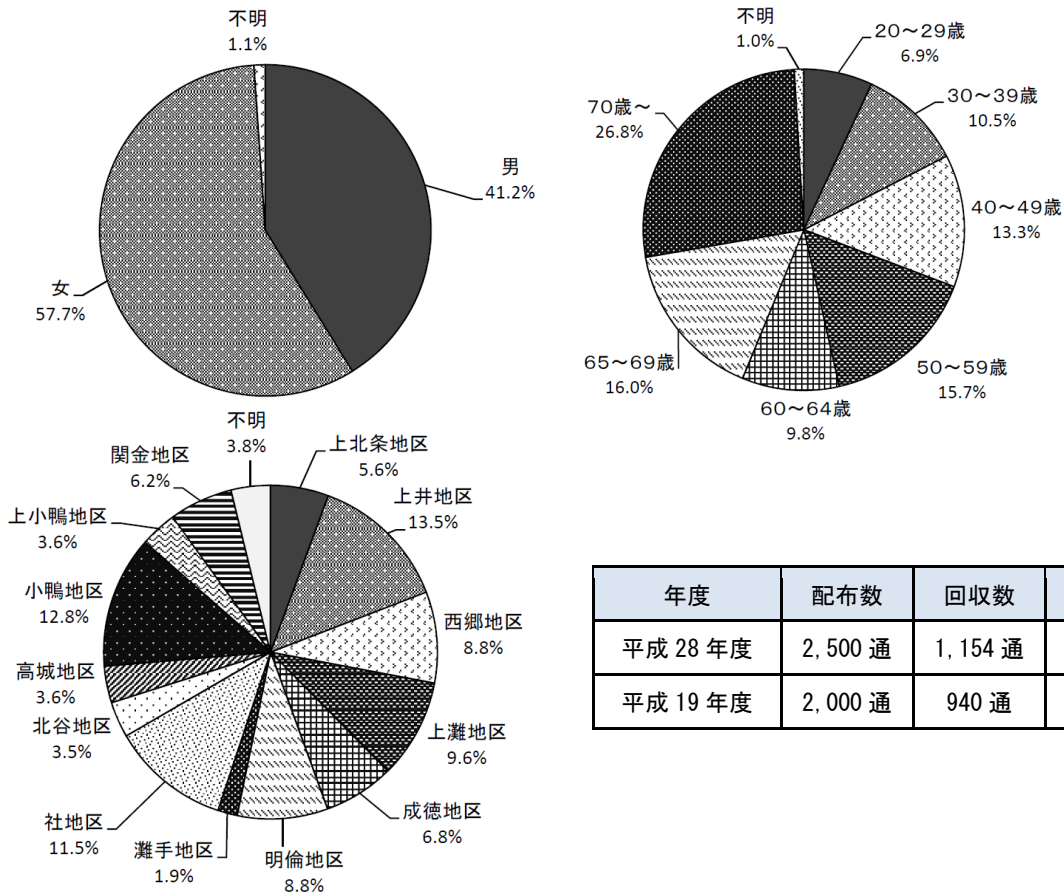
3. 市民の意向

(1) 倉吉市民意識調査（倉吉市調査）

① 調査の概要

倉吉市民意識調査より、都市計画に関する項目を抽出し、その概要を以下に示します。

- 目的：より効率的で質の高い行政サービスの実現をめざし、市民の生活実態、問題意識や行動実態などの現状値を把握し、今後の市政運営の参考とすること。
- 期間：平成28年4月29日（金）～5月31日（火）、方法：郵送配布・回収方式
- 対象：平成28年4月22日現在、倉吉市に在住する20歳以上の男女を無作為抽出



年度	配布数	回収数	回収率
平成28年度	2,500通	1,154通	46.2%
平成19年度	2,000通	940通	47.0%

市民意識調査よりマスタープランに関する設問を以下のように抜粋しました。

マスタープランの検討事項		市民意識調査の設問	
土地利用に関する事項		問44④	土地利用バランス
都市施設に関する事項	道路	問44①②	幹線道路網、生活道路の整備状況
	公共交通等	問41, 42, 43	移動手段、公共交通満足度、バス利用
	公園・緑地	問46①	公園・緑地の整備状況
市街地整備に関する事項		問44③	住環境の整備状況
都市景観・都市環境に関する事項		問44⑤	市街地景観、街並み状況
		問46②	景観保全・緑化推進状況
		問45	自然環境の保全状況
		問47	森林保全の重要性
都市防災に関する事項		問23①	防災体制の状況

※下水道に関する設問はありませんでした。

資料：平成28年度 倉吉市民意識調査・報告書

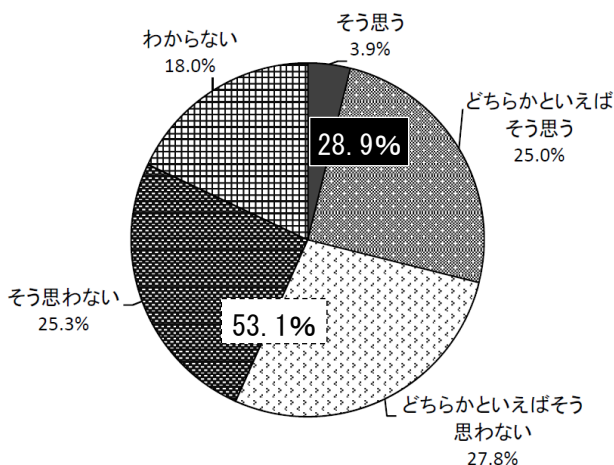
② アンケート結果

土地利用のバランスが取れていないと思う人が半数を超える

■問 44④ 土地利用バランス

あなたは、倉吉市は市全体が、自然、商業・工業地域、居住地域などの土地利用のバランスがとれていると思いますか。

- 「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」と答えた人は 28.9%
- 「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は 53.1%

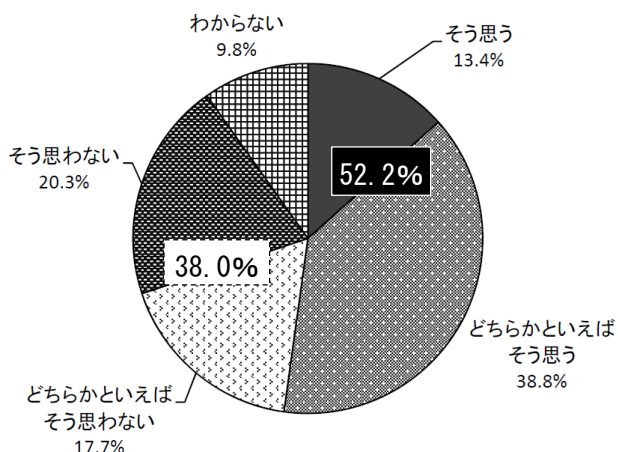


幹線道路網や生活道路が充実していないと思う人が約4割

■問 44① 幹線道路網整備状況

あなたは、国道、県道など市内外を結ぶ幹線道路網が充実していると思いますか。

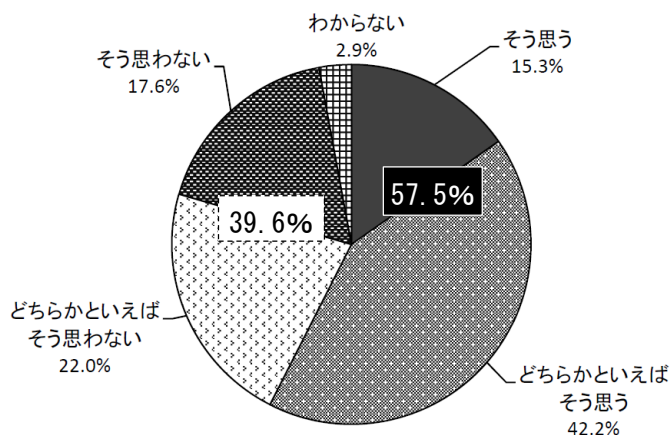
- 「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」と答えた人は 52.2%
- 「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は 38.0%



■問 44② 生活道路の整備状況

あなたのお住まいの地域の生活道路は、通行しやすく、歩行しやすい道路となっていますか。

- 「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」と答えた人は 57.5%
- 「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は 39.6%

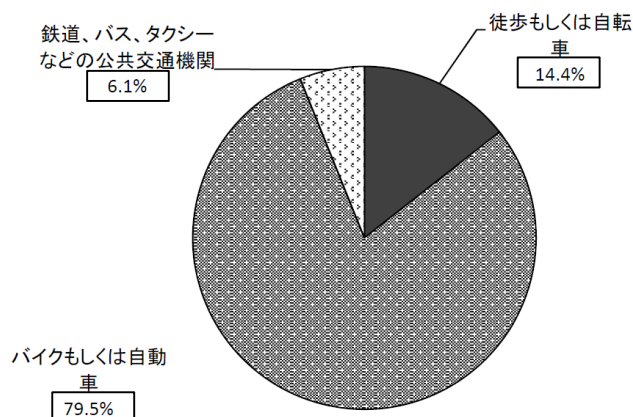


公共交通の利用者は少ないものの、利用者の多くは不便を感じている

■問 41 主な移動手段

あなたの主な移動手段は何ですか。

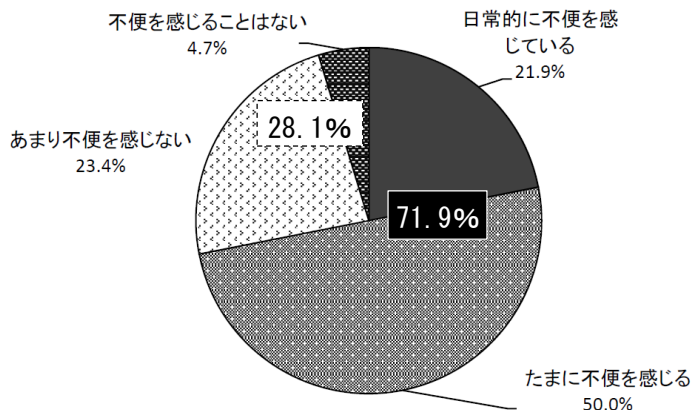
- 「1. 徒歩もしくは自転車」は14.4%、
- 「2. バイクもしくは自動車」は79.5%
- 「3. 鉄道、バス、タクシーなどの公共交通」は6.1%と1割を下回る



■問 42 公共交通満足度

問41で、主に「3. 鉄道、バス、タクシーなどの公共交通」を移動手段としている方にお伺いします。日常的に市内の公共交通の便に不便を感じることはありますか。

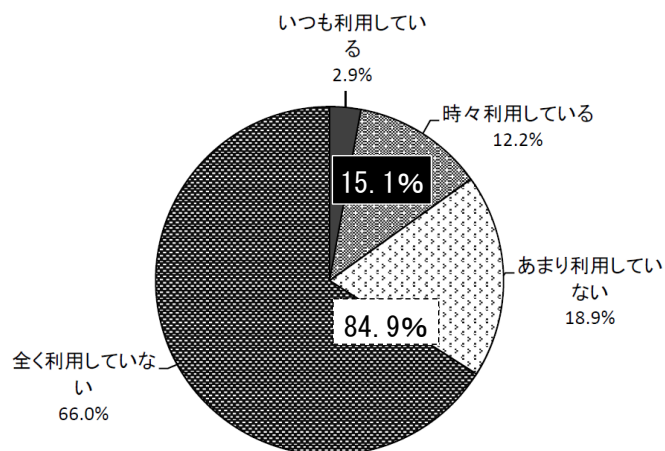
- 「1. 日常的に不便を感じている」「2. たまに不便を感じる」と答えた人は71.9%
- 「3. あまり不便を感じない」「4. 不便を感じることはない」と答えた人は28.1%



■問 43 バス利用実態

あなたは、過去1年間のうちにどのくらいの頻度で路線バスを利用していますか。

- 「1. いつも利用している」「2. 時々利用している」と答えた人は15.1%
- 「3. あまり利用していない」「4. 全く利用していない」と答えた人は84.9%

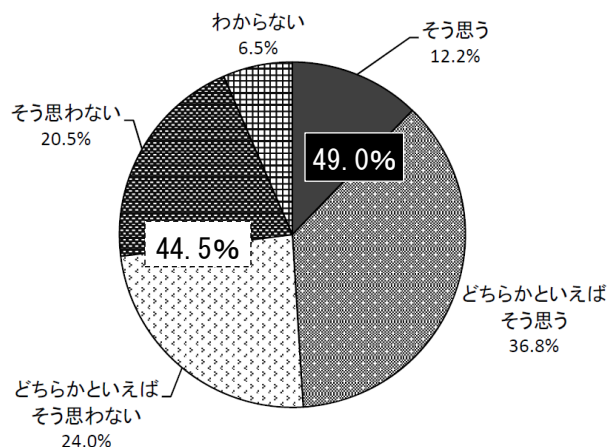


公園や緑地などの憩いの場が整備されていないと思う人が約4割

■問 46① 公園・緑地の整備状況

あなたのお住まいの地域は、公園や緑地などの憩いの場が整備されていると思いますか。

- 「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」と答えた人は49.0%
- 「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は44.5%

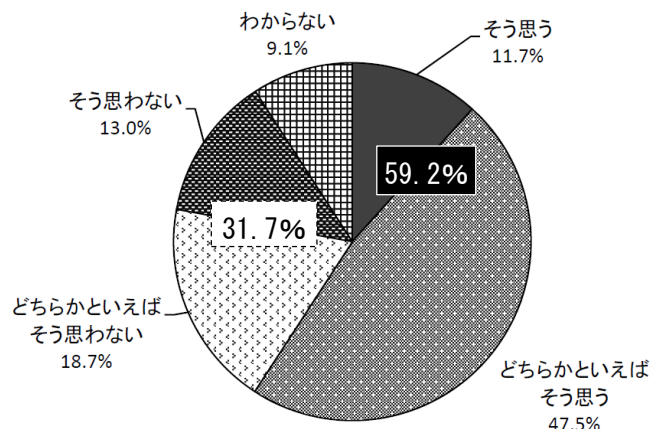


ゆとりと潤いある良い住環境が整っていないと思う人は約3割

■問 44③ 住環境の整備状況

あなたのお住まいの地域は、ゆとりと潤いのあるよい住環境が整っていると思いますか。

- 「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」と答えた人は59.2%
- 「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は31.7%

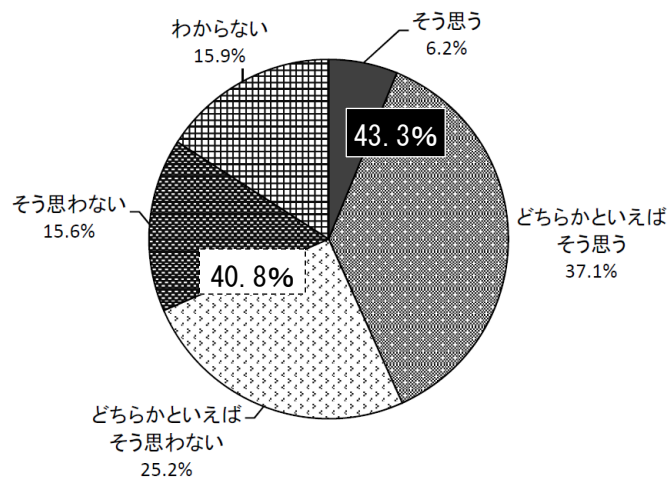


良好な景観形成や緑化推進がされていないと思う人は約4割

■問 44⑤ 市街地景観、街並み状況

あなたのお住まいの地域は、市街地の景観や街並みが優れていると思いますか。

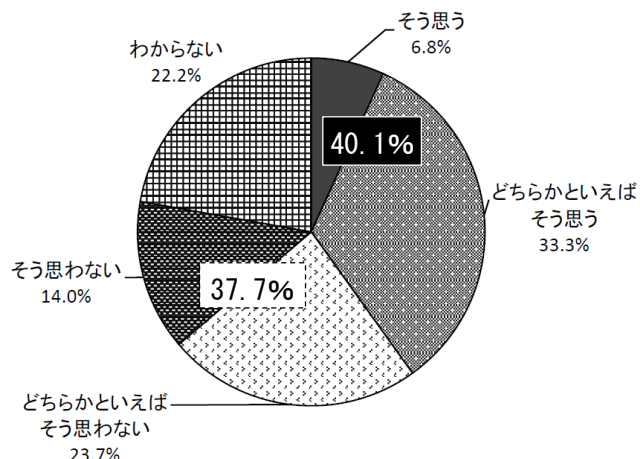
- 「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」と答えた人は43.3%
- 「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は40.8%



■問 46② 景観保全・緑化推進状況

倉吉市では、景観の保全や緑化の推進を行っていますが、それらの取組が進んでいると思いますか。

- 「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」と答えた人は40.1%
- 「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は37.7%

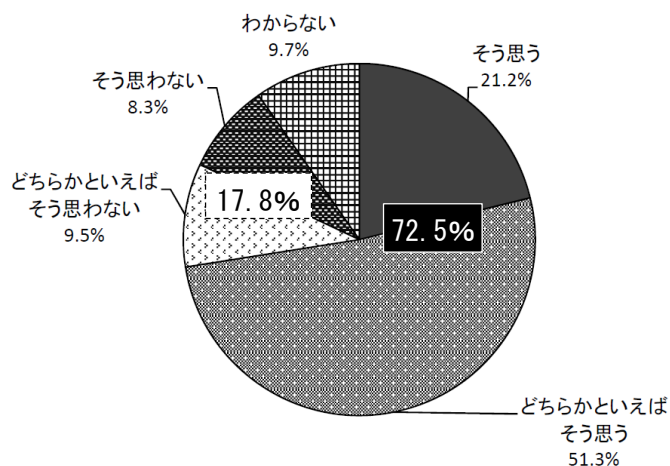


自然環境や森林などの保全意識は高く7割以上

■問 45 自然環境の保全状況

あなたのお住まいの地域では、水と緑の豊かな自然環境が大切に守られ、育てられていると思いますか。

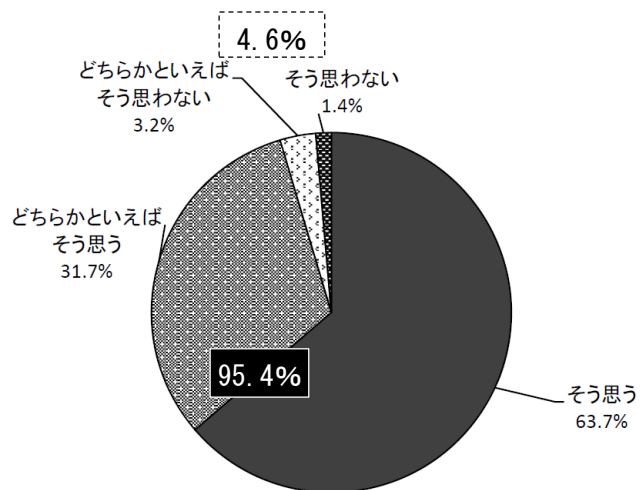
- 「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」と答えた人は72.5%
- 「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は17.8%



■問 47 森林保全の重要性

あなたは、市内の森林が保全されることを大切だと思いますか。

- 「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」と答えた人は95.4%
- 「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」と答えた人は4.6%

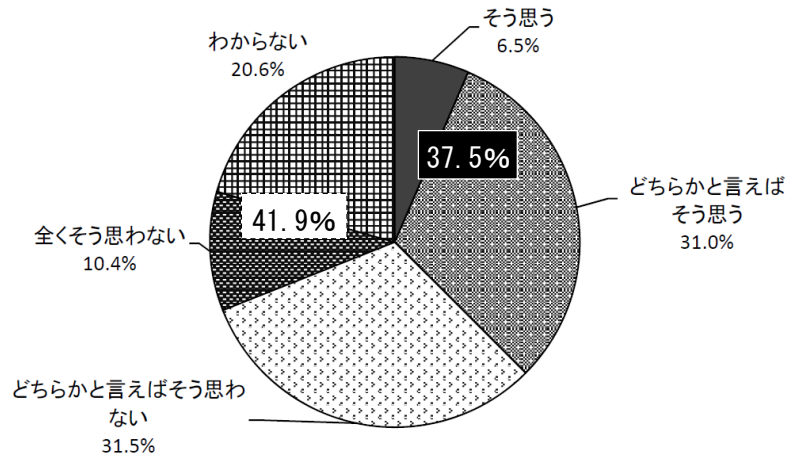


災害に備えた防災体制が整っていないと思う人は約4割

■問 23① 防災体制の状況

あなたのお住まいの地域では、いつどこで起きるかわからない災害に備えた防災体制が整っていると思いますか。

- 「1. そう思う」「2. どちらかと言えばそう思う」と答えた人は37.5%
- 「3. どちらかと言えばそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた人は41.9%

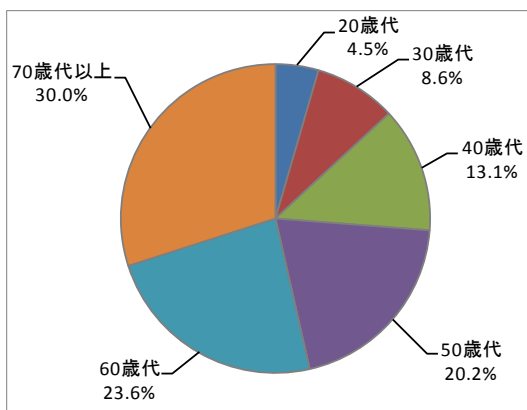
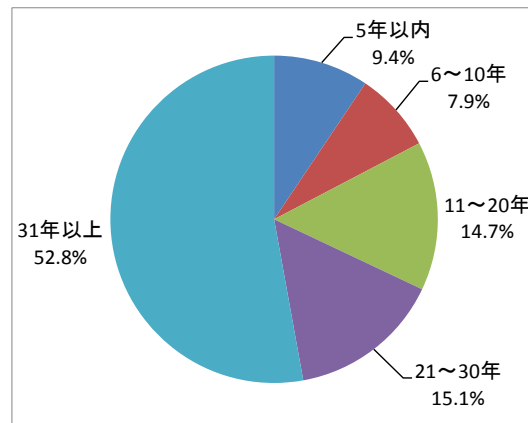
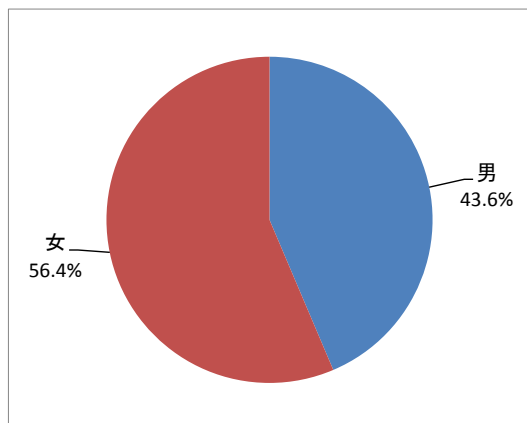


(2) 都市計画（まちづくり）アンケート（鳥取県調査）

① アンケートの概要

鳥取県が実施した都市計画（まちづくり）アンケートの概要を以下に示します。

- 目的：都市づくりに対して住民が日常的に感じていること、意見、要望等を尋ね、都市計画区域マスタープランを更新するための貴重な意見として活用すること。
- 期間：平成26年10月10日（金）～10月20日（月）、方法：郵送配布・回収方式
- 対象：平成26年9月1日現在、倉吉市に在住する20歳以上の男女を無作為抽出



区分	配布数	回収数	回収率
倉吉市全体	790 通	269 通	34.1%
都市計画区域	715 通	234 通	32.7%
都市計画区域外	75 通	35 通	46.7%

都市計画アンケートよりマスタープランに関する設問を以下のように抜粋しました。

マスタープランの検討事項	都市計画アンケートの設問	
各種整備に関する事項	問1	生活環境に関する満足度・重要度
都市づくりの目標に関する事項	問2	まちづくりの方向性
土地利用に関する事項	問3	都市計画区域の範囲
	問4	土地利用の現状と今後の方向性
	問5	土地利用の規制手法
	問6	土地利用の緩和手法

② アンケート結果

取組み優先度が特に高いもの（満足度がマイナス評価で重要度がプラス評価）は、「若者の定住促進のための施策」、「災害に強いまちづくり」、「高齢者や障がい者にやさしい環境」

■問1 生活環境に関する満足度・重要度（都市計画区域内）

あなたがお住まいの地区（⇒自治会や町内会レベルの区域）の生活環境について、現状にどの程度満足していますか。また、今後の重要度をどうお考えですか。各項目に対して、あてはまるものを1つ選んでその番号に○をつけてください。

生活環境	現状の満足度					今後の重要度				
	満足	やや満足	普通(わからない)	やや不満	不満	重要	やや重要	普通(わからない)	あまり重要でない	重要でない
記入例) 現状の満足度が「満足」、今後の重要度は「あまり重要でない」の場合	①	2	3	4	5	1	2	3	④	5
1：区画が整ったまちなみ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2：国道・県道などの幹線道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3：地域内の身近な道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4：高齢者や障がい者にやさしい環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5：公共交通機関の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6：市街地や駅周辺の交通環境・駐車場整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7：住宅地や住宅団地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8：市街地の商店街の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9：幹線道路沿道におけるスーパーなどの商業施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10：工業地や工業団地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11：上水道・下水道の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12：河川の治水対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13：公園（広場、グラウンド、緑地）の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14：美しい景観・自然保護のための施策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15：災害に強いまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16：歴史文化遺産や伝統芸能の保護、保存	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17：農業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18：観光の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19：若者の定住促進のための施策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
評価点	2	1	0	-1	-2	2	1	0	-1	-2

<満足度の評価点 計算方法>

・「満足」を+2点、「やや満足」を+1点、「普通(わからない)」を0点、「やや不満」を-1点、「不満」を-2点として計算し、無回答を除く回答者数で平均したもの。

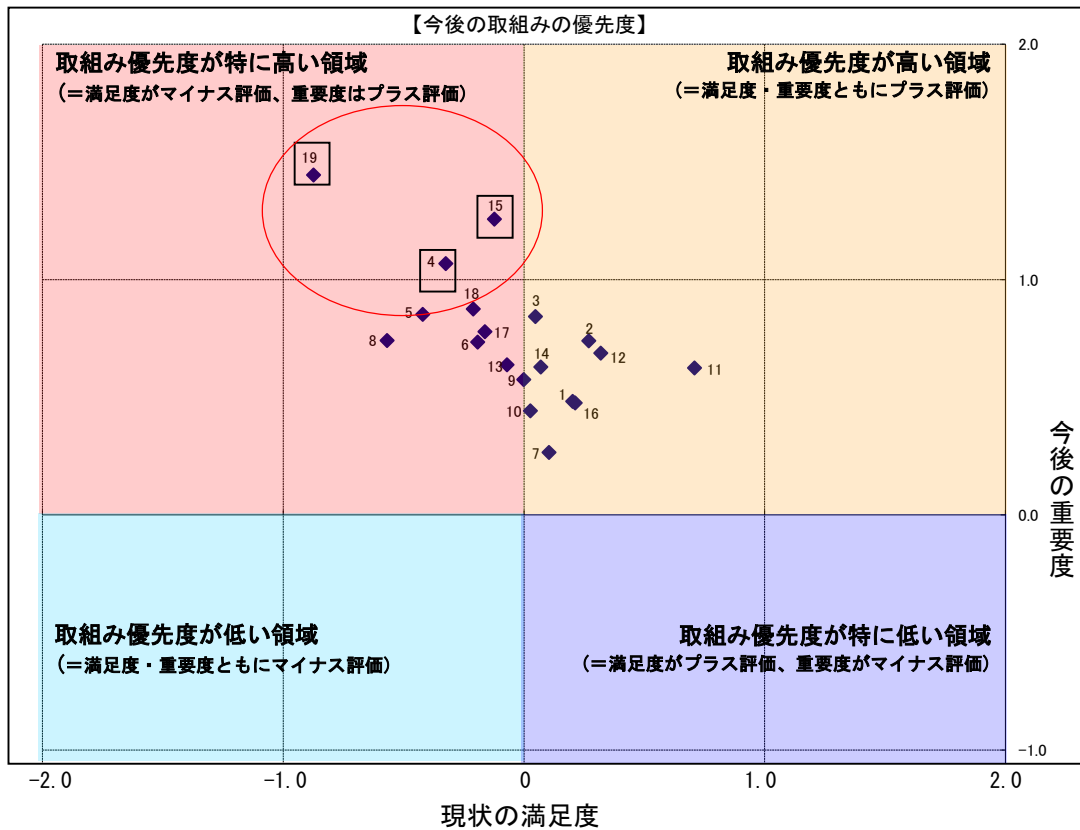
$$\text{評価点} = \frac{(2 \times \text{「満足」の回答者数} + 1 \times \text{「やや満足」の回答者数} - 1 \times \text{「やや不満」の回答者数} - 2 \times \text{「不満」の回答者数})}{\text{無回答を除く回答者数}}$$

<重要度評価点 計算方法>

・「重要」を+2点、「やや重要」を+1点、「普通(わからない)」を0点、「あまり重要でない」を-1点、「重要でない」を-2点として計算し、無回答を除く回答者数で平均したもの。

$$\text{評価点} = \frac{(2 \times \text{「重要」の回答者数} + 1 \times \text{「やや重要」の回答者数} - 1 \times \text{「あまり重要でない」の回答者数} - 2 \times \text{「重要でない」の回答者数})}{\text{無回答を除く回答者数}}$$

- 生活環境に関する各項目について、【現状の満足度】と【今後の重要度】に評価点を与えて計算し、縦軸と横軸の組み合わせにより4つの領域（象限）に区分して、今後の取組み優先度として評価しました。
- その結果、取組み優先度が特に高い領域（＝満足度がマイナス評価、重要度はプラス評価）のうち、「19.若者の定住促進のための施策」や「15.災害に強いまちづくり」「4.高齢者や障がい者にやさしい環境」が高くなっています。



- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1：区画が整ったまちなみ | 11：上水道・下水道の整備 |
| 2：国道・県道などの幹線道路の整備 | 12：河川の治水対策 |
| 3：地域内の身近な道路の整備 | 13：公園（広場、グラウンド、緑地）の整備 |
| 4：高齢者や障がい者にやさしい環境 | 14：美しい景観・自然保護のための施策 |
| 5：公共交通機関の充実 | 15：災害に強いまちづくり |
| 6：市街地や駅周辺の交通環境・駐車場整備 | 16：歴史文化遺産や伝統芸能の保護、保存 |
| 7：住宅地や住宅団地の整備 | 17：農業の振興 |
| 8：市街地の商店街の整備 | 18：観光の振興 |
| 9：幹線道路沿道におけるスーパーなどの商業施設の整備 | 19：若者の定住促進のための施策 |
| 10：工業地や工業団地の整備 | |

まちづくりの方向性は「福祉・医療」「災害」「子育て・教育」の充実

■問2 まちづくりの方向性（都市計画区域内）

今後、あなたがお住まいの地区（⇒自治会や町内会レベルの区域）ではどのような方向のまちづくりを進めるのがよいと思いますか。

- まちづくりの方向性は、『福祉や医療が充実した健康福祉のまち』が最も重視され、『災害に対する備えが充実したまち』『子育て支援や教育施設などが充実したまち』が続きます。

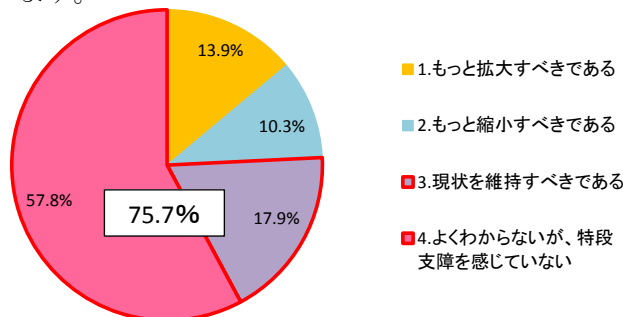
順位	まちづくりの方向性	選択率
1	福祉や医療が充実した健康福祉のまち	18.0%
2	災害に対する備えが充実したまち	15.8%
3	子育て支援や教育施設などが充実したまち	12.6%
4	防犯や交通安全などが充実したまち	12.3%
5	道路や公園などの生活環境が整ったまち	9.2%
6	住民によるまちづくり活動が盛んなまち	8.1%
7	農地・山林を保全した自然環境が豊かなまち	6.8%
8	商業施設を整備した商業のまち	5.1%
9	歴史・文化を大切にするまち	4.1%
10	地域資源を活用した観光が盛んなまち	3.9%
11	工業や研究機関などの産業が盛んなまち	3.6%
12	その他	0.5%

都市計画区域の範囲に支障を感じてない、および、現状維持すべきが約8割

■問3 都市計画区域の範囲について（都市計画区域内）

「都市計画区域」とは、計画的にまちづくりを行う区域です。倉吉市の今後の都市計画区域の範囲について、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 大部分の方は支障を感じておらず、現状維持の意向と支障を感じていない人の割合の合計は、75%を超えています。

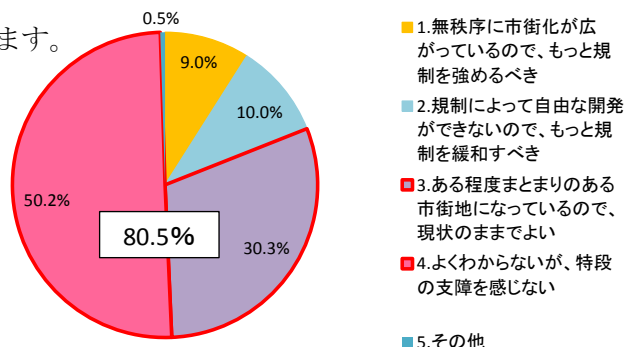


土地利用規制に支障がない、および、現状のままでよい が約8割

■問4 土地利用の状況と今後の方向性（都市計画区域内）

倉吉市の都市計画区域内の土地利用の状況と今後の方向性について、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 大部分の方は支障を感じておらず、現状維持の意向と支障を感じていない人の割合の合計は、80%を超えています。

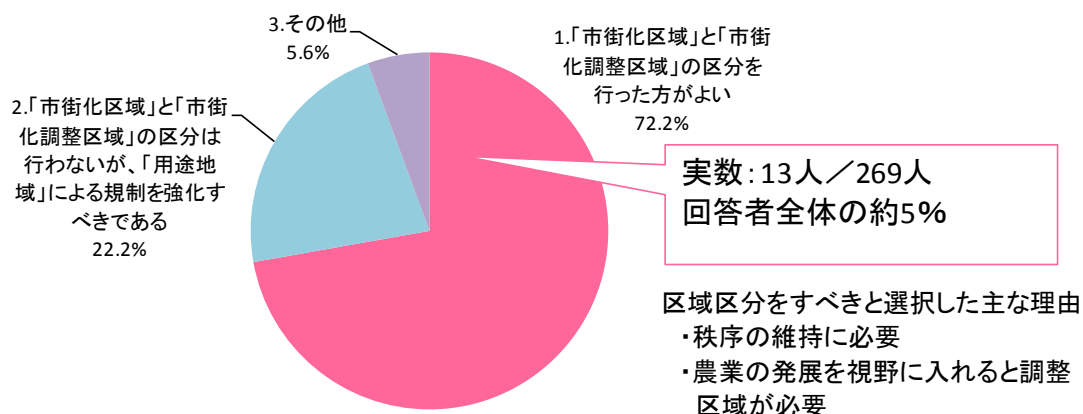


■土地利用規制に関する意向（問4で「もっと規制を強めるべき」とした回答者が対象）

倉吉市では現在行っていませんが、土地の利用の規制方法として、この他に、都市計画区域を「市街化区域」と「市街化調整区域」に区分する方法があります。「用途地域」の指定よりも、都市計画区域を「市街化区域」と「市街化調整区域」に区分する方法の方が、より強い規制となります。

以上のことを踏まえ、都市計画区域の今後の土地利用規制のあり方について、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 問4-1で規制を強化すべきと考える人は18人で、そのうちの72.2%（13人）は、区域区分を導入すべきと考えています。（全回答者269人の約5%）
- また、区域区分は行わないが、用途地域による規制を強化すべきと考える人は22.2%（4人）となっています。



■土地利用緩和に関する意向（問4で「もっと規制を緩和するべき」とした回答者が対象）

倉吉市の都市計画区域の今後の土地利用規制のあり方について、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 規制を緩和すべきと考える人は23人で、そのうちの65.2%（15人）は用途地域指定範囲・内容を見直すべきと考えています。（全回答者269人の約6%）
- また、用途地域の撤廃と考える人は30.4%（7人）となっています。

